

令和7年度 第3回まちづくり部会

『精神障害を抱えている人たちの生活について語り合おう②』

令和7年11月12日 in 赤磐市中央図書館

昨年度に続き、精神障害を抱えている人たちの生活について語り合う場をもち、17名の参加がありました。



前半は3名の方々より情報提供がありました

①まちづくり部会部会長 西田典子氏より

○井戸端カフェ開催の経緯 ○昨年度の井戸端カフェ(精神障害)のカテゴリー別課題の整理 等

②赤磐市役所社会福祉課 三村ゆかり氏より

○「にも包括」、デカパン方式について 等

③あかいわ精神障がい者家族会連合会 雨宮悦恵氏より

○自己紹介 ○あかいわ精神障がい者家族会連合会発足までの経緯 ○活動内容 ○願い 等

井戸端カフェ



語り合った内容

【1グループ】・移動の困難さ ・医療に関して家庭訪問、カウンセリング充実の要望 ・居場所に関して家以外でいくつかの選択肢の希望 等

【2グループ】・社会からの偏見 ・男女の出会いの場の不足 ・レクリエーションなどの定期的な集まりの場の少なさ 等

【3グループ】・精神障害に特化した施設の不足 ・親亡き後の不安 ・B型事業所の工賃の低さ ・一生付き合っていかなくてはならない病気 ・症状によって支援者の負担が増える 等

参加者からの感想

○困っていることを聞いてくれ、一緒に考えてくれた。ずっと家に居たので、気晴らし出来た。知っている人がたくさんいたので話が出来て良かった。(当事者)

○よく話が出来る。(当事者)

○精神障害と一概に言っても、障害の出方によって困り感や辛さが人によって異なることもわかりその大変さがよくわかりました。本日初めて飛び込みで参加された地域の人が、障害があってもなくても皆共通した悩みがあり、その解決を人任せにするのではなく、自分たちで何とかしようという会に参加できて本当に良かった、自分に大きな気付きがあったと言われていました。(支援者)